

(様式1)

## 自己評価票

作成日 平成22年 2月25日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0871900460		
法人名	有限会社 幸		
事業所名	グループホーム きらり	ユニット名	ほしぞら
所在地	〒 300-1217 牛久市さくら台3-34-10		
自己評価作成日	平成22年 2月25日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	
-----------------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価確定日	平成 年 月 日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>開所して6年目となり、これまでにご入居されたお年寄り達の思い出がたくさん詰まった空間となっている。やる気のある元気な職員達が集まり、飼い犬や飼い猫達とも協働しながら、より良いケアについて日々話し合い実践している。地域密着を意識し、住み慣れた街で安心して、時には楽しみをもって暮らし続けていただけるよう支援していきたいと考えている。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着を意識した理念となっている。地域との関わり方を日常的に話し合い、実践につなげるよう努力している。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の盆踊り大会や、公民館での体操等に参加している。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で民生委員や家族の方からの介護に関する質問に対し情報を提供している。地域の小学生の職場見学の受け入れ、高校生介護実習の受け入れを行っている。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加者からの意見や提案をその場で検討したり、ケア内容について改善が必要な内容は職員会議の場で申し送り、話し合い、サービス向上につなげている。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事業所内で解決できない内容の相談や、入退居の報告等をしている。事業所にとって市は近い存在にある。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	基本的に身体拘束は一切行わない。家族から要望が出た事はあったが、慎重に検討し家族に理解を求め行わない事とした。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議の場で話し合い、発見した時は市に報告相談する。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	会議の場で話し合い、必要に応じて利用者、家族の相談にのる。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	改定内容等については事前に書面でお知らせする。内容についての質問や相談は個々に受付し、解決に向けて話し合いをする。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議では色々な意見や要望をいただく。毎月、ご意見用紙を送付し、多くの意見をいただけるようお願いしている。利用者には、ケアプラン作成時やアンケート等でホームに対する希望等を伺うようにしている。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議の場で報告し意見を聞く。基本的に現場主義。ホームに対するアンケートを始める事とした。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者間で話し合いながら、職員を細かく評価し処遇に反映されるよう努力している。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月の会議の場で、テーマを決め研修の時間を設けている。社員は県の研修に参加できるよう支援している。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	交流会等に参加させていただいている。市で開催された事業所紹介に参加し、その場で多くの同業者と情報交換することができた。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学可能な場合は、利用予定者本人にもホームにお越しいただきホームの生活空間を見ていただいた上で、本人のご希望や生活の習慣等を聞くようにしている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学の時期から可能な限りの要望にお答えできるよう努力している。話しやすい関係性を作るようにしている。
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要に応じて医療関係者に訪問をお願いしている。当日勤務職員だけでは対応できない個人的な支援は、家族やボランティアの方に協力をお願いしている。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	私たちには経験の無い昔の出来事を聞いたり、家事作業を可能な限り一緒に行うよう努力している。
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員と家族の役割について家族と相談するようにし、ケアプランにも反映させている。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	在宅の頃の友人が訪問してくださる。本人の希望により、行き付けの美容院等を利用している。
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士が助け合っている場面が見られる。職員はトラブルに発展しない限り見守るようにしている。職員の手が足りない時に見守り等をお願いする事がある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	移り住む先の関係者に対し、必要な情報提供をしている。その後もいつでも相談にのれる体制をとっている。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的に意向についてのアンケートを始めた。個人的に上がった要望や意向等は会議の場でも出し合い職員同士で把握するよう努めている。
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしを可能な限り本人や家族から聞き取り、日常生活に取り入れられるようにしている。生活していく中でもできそうな事にチャレンジできる環境を作るようにしている。
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の生活の流れに沿いながら、生活行為一つ一つに関わる中で、できること探しをするよう努めている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	その都度本人、家族に意向を聞き取りし、介護職員、看護師、医師等の意見と合わせて作成している。
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の日誌の他、連絡ノートに記入し、日々変化する情報を職員間で共有するようにしている。それらを会議等で出し合いケアプランに反映する事もある。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	場合により、家族やボランティアにも協力をお願いしながら、個々のニーズに答えられるよう努力している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域で開催されるイベントへの参加の際の協力、美容院への送り迎え、近隣地区の民生委員には日常的にお世話になっている。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には本人や家族が希望する病院を主治医とし、その医師の意見を優先とする。往診の医師、緊急時の受診病院はホームが契約している病院にお世話になれるよう連携をとっている。その他、眼科、神経内科、整形外科等他科受診も可能。希望時、必要時に受診体制を整える。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師は基本的に週一回配置。緊急時や相談事がある際は、随時電話連絡で指示を仰ぐ。個人的に医療行為が必要になる場合でも、可能な限りホームでの生活が継続できるよう連携をとる。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	可能な限り早期退院できるように、入院計画時に医師に希望を伝えるようにしている。入院の際は本人についての情報提供している。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者や職員によって対応方法はさまざまである。基本的な指針はあるが、その都度、本人、家族、関係職員とが医師の意見を元に話し合いながら進めていく。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応はマニュアルがあり、定期的に会議等で話し合っている。利用者個人の現病に対応できるよう、医師、看護師と密に連携をとり、日常的に職員間で連絡をとっている。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	半年ごとに非難誘導訓練を行っている。今年度より、家族や地域の方々にも非難誘導訓練に参加いただけるよう呼びかけを行う予定。災害時用に、飲料水、毛布等を準備している。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	
			実 施 状 況	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシー保護マニュアルを基本とし、会議等で話し合うだけでなく、普段から職員間で気になる事はその場でお互いに注意し合い早い段階で改善できるよう努力している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個人の表情を良く見て接するよう心がけている。「はい」の裏に「いいえ」が潜んでいることも…。本当の訴えは何なのか？時には時間をかけて知る努力をしている。	
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その方の生活ペースに合わせ、必要な支援をするよう心がけている。生活の流れを作るためにある程度誘導しなければならない方も、本人がなるべく嫌な思いをしないよう配慮しながら支援している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみを人一倍気にされる方、全く気にされない方、色々である。個々に合わせ必要な支援をしている。普段気にしないように見える方でも、少し化粧していただいたり、ヘア飾りをつけるだけで良い表情を見せて下さる。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	足の立つ方にはキッチンに立って調理をしていただく。皮むきならできる方、盛り付けが得意な方、調理風景を近くで見ているだけでも興味深い表情をされる方、嬉しそうに味見をされる方、と様々。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が作成するメニューを取り入れており、摂取量を把握している。歯が揃っていない方や咀嚼力の弱い方への形状の工夫、ゆっくり食べられる環境に配慮している。個人の好みを把握し、無理無く摂取できるよう支援している。	
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後うがいの声かけを行い、必要な支援している。昼食後のうがいには、風邪予防のためお茶を使用している。歯科往診にて無料検診をしていただき、希望により専門家による口腔ケアを受けていただいている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	基本的に排泄はトイレで。たとえオムツになっても、体調によってはトイレ誘導も可能であり、もしかしたら又トイレに行けるようになるかも知れないと希望を持って支援している。そのために、ちょっとした体の動きの変化を見逃さないようにしている。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動、水分摂取は日常的に気をつけ、必要に応じて声かけをしている。場合によってはタイミング良くトイレ誘導し、排便を促すようにしている。排便の間隔を個々に把握しており、下剤服用されている方は医師の指示通り調整もしている。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	大まかな時間帯は決まっているが、その時間内で一番を希望される方、夕方を希望される方等可能な限り希望に沿えるよう支援している。その方によって支援内容は皆違い、必要な支援をしている。ゆず湯、菖蒲湯、ちょっと贅沢に薔薇湯？等、入浴を楽しんでいただいている。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、人によっては頑張り過ぎでストレスを溜めてしまう方や血圧変動の激しい方もいるため、体調を見ながら適度に休息がとれるよう支援している。夜間、精神不安で寝付けない方には、不安な原因を探り、できるだけ早く安心感を取り戻していただけるよう支援している。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	必要時に服薬内容の確認ができるよう事務所にお薬カードのファイルがある。日常的に個人の状態を把握し、医師、看護師に報告、必要時指示を仰ぐ。毎食、服薬担当を決め責任をもって与薬する。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個人の能力や体力にあった家事作業への参加声かけ、個人が楽しめる手工芸やゲームを考え、参加声かけを行う。普段、何もやる気が無いように見える方でも、日によって興味を示して下さる事があるため、その変化を見逃さないよう気をつけている。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日の買い物には入居者と一緒に出かけるようにしている。個人的な外出希望がある時は、家族にも協力いただき可能な限り支援する。天気の良い日は庭に出て日光浴、犬の散歩、庭でお弁当を食べる機会を作っている。



自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個人の金銭保管については入居時に本人、家族と相談している。ホームでお預かりしている小遣いは出納帳につけ毎月報告している。スーパーや病院で自力で支払いされる方、お金の全く興味の無い方色々であるが、必要に応じて支援している。ホーム内でお金のトラブルが無いようその都度工夫して対応する。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>家族や友人に個人的に連絡をとる方に、必要な支援をしている。場合によっては間に入り通訳する。毎年、年賀状のやり取りがある。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>室温、照明は時間や天気によって、職員が適切に調節している。季節感を持てるよう、季節の草花や飾り物を置くようにしている。建物内の壁紙は目的の部屋ごとに色を変え、落ち着きや温か味を出している。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>日当たりの良いソファ、テレビの見やすい席、落ち着いて食事ができる席等、個々の目的に合わせる事ができるよう家具を配置している。和室では、たくさんの洗濯物をたたまれる方、アイロンがけをされる方の姿が見られる。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>基本的に火の出るもの以外は何でも持ち込み可。個人の好みに合わせた部屋を作っていた。あえてドレープカーテンも好みの物を持ち込んでいただいている。個人によっては、混乱を招かないよう、その人の状態の変化に合わせて、家族と相談しながら居室内を整えていくようにしている。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>必要な箇所の手すりが設置されている。建物内はバリアフリーであるが、玄関は外と内が分かるよう、あえて上がりがまちにしている。トイレの場所が分かるよう目印をつけている。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない